

# 図書館だより

9月  
21. 9  
琢成小図書館



十五夜は、「中秋の名月」ともよばれます。昔から日本ではやはり満月がいちばんうつくしいとされてきました。中でも、中秋のこの時期が、空気が一番すんでいて、最も美しい満月が見られるとして、この日、月を見ながら宴会をする風習ができたそうです。そして、だんだん、ススキを飾ったりお供え物をするようになりました。今年の十五夜は12日です。きれいなお月さまが見えるとよいですね。

図書室にも、月が出てくるお話や、月・惑星などの本があります。コーナーを作りましたので、借りて読んでみてね。



## 貸し出しについて

「中間休みと昼休みに本を借りるとき、こみあって時間内で本を借りることができない。」そんなことがないように、次のようにかかりました。



4年生以上の自分でパソコンを使ってよい人は、朝も本を借りることができます。朝に借りるときは、チャイムが鳴ったら必ず、すぐに、教室にもどりましょう。ただし、水曜日の朝は、借りられないこととなります。水曜日の朝読書の本は、前の日にかけておきましょう。



貸し出し用の個人のバーコードがカードになります。教室にカードを置くこととなりますので、借りるとき持ってきて、借りて教室にもどったら、カード入れに返しましょう。なくさないように気をつけましょう。

みんなが気持ちよく借りることができるように図書室のきまりをたしかめましょう。

- ☆ 1～3年生のみなさんは、自分でパソコンは使わないで、先生や読書室当番の人にしてもらいましょう。
- ☆ 図書室のパソコンは「返す・借りる」のところだけ使いましょう。「さがす」などほかのところはつかいません。
- ☆ パソコンでバーコードを読み取るときは、まっすぐにゆっくり読み取りましょう。ずれたり、はやすぎると正しく読み取れず、ちがう本の題名が出てきます。